

周防大島町の話題



▲完成した商品を手にする地域創生科の有志の皆さん

夢塩プロジェクト

2月29日、「夢塩プロジェクト」として、周防大島高校の地域創生科の2・3年生（令和5年度時点）の有志が、地元企業の協力を得ながら開発した「塩飴」のお披露目会が行われました。

この塩飴は、生徒自身がマーケティング活動、デザイン選定、営業活動などを行い作成されたもので、このような取組は県内の高校では初の試みとのこと。

地元のクラフトソルトをベースに、山口県内の特産品を使用した飴には4種類のフレーバーが用意されており、道の駅サゼンセトとうわや岩国錦帯橋空港、JR 広島駅などで販売されています。

看護師としての新たな一歩

3月8日、大島看護専門学校において卒業式が行われ、20人の生徒が3年間学生生活を送った学びやをあとにし、看護師としての新たな一歩を踏み出しました。

山本幸子校長は、告辞のなかで「看護師としての倫理観と自ら学ぶ姿勢を持ち続け、たくさんの技術や知識を増やし、地域社会で活躍されることを願っています」と思いを伝えました。

なお、卒業生20人のうち6人が町立病院に就職しています。



▲卒業生を代表して感謝や決意を述べる吉光莉里奈さん



▲ゆめほっぺ（せとみ）の選果の様子

ぷちぷちと弾ける食感

3月14日、ゆめほっぺ（せとみ）の初荷出発式がJA 山口県周防大島柑橘選果場にて行われました。

令和5年産は、夏から秋にかけての高温・少雨、冬季の低温などがありましたが、生産者の徹底した管理により、濃厚で高品質な果実に仕上がっています。

せとみは、「清見」と「吉浦ポンカン」を掛け合わせて育成された山口県オリジナル柑橘で、せとみのなかでも糖度13.5度以上、酸度1.35%以下のものを「ゆめほっぺ」として出荷されています。薄皮が口に残らないみかんのような柑橘で、濃厚な甘味と「ぷちぷち」っと弾けるような独特な食感が楽しめます。